

動物実験に関する検証結果報告書

新潟県立大学



動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

平成30年3月

平成 30 年 3 月 19 日

新潟県立大学

学長 若杉 隆平 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物
理事長 浦野



対象機関：新潟県立大学

申請年月日：平成 29 年 6 月 28 日

訪問調査年月日：平成 29 年 10 月 27 日

調査員：山本 博（富山大学）

検証の総評

新潟県立大学は前身の県立新潟女子短期大学・新潟県保育専門学院を源とし、平成 21 年度に開設された 2 学部、1 大学院よりなる公立大学である。人間生活学部の健康栄養学科においてマウスおよびラットを対象に動物実験が実施されている。平成 28 年度は学内 1 か所の施設で実験動物の飼養保管および動物実験が行われていた。動物実験は、「新潟県立大学動物実験指針」のもとで動物実験委員会により、動物実験計画の審査、承認、終了報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等が、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、基本指針とする）」および環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下、飼養保管基準とする）」に則して概ね適正に実施されている。今後、公私立大学実験動物施設協議会（以下、公私動協とする）等から提供される最新の情報の入手や、実験動物管理者に対する教育研修プログラム受講により、動物実験実施体制および飼養保管施設のさらなる整備・維持管理、適正な動物実験の推進に活用することを検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「新潟県立大学動物実験指針」が定められ、その内容は概ね基本指針に則している。しかし、管理者、実験動物管理者、飼養保管施設等の定義や役割が明記されていない点など、基本指針や飼養保管基準で求められる内容が完全に網羅されていない。また、動物実験委員会での審議結果等は全学倫理委員会へ報告することになっており、学長、全学倫理委員会、動物実験委員会の関係性が不明瞭である。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果を、「機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

4) 改善に向けた意見

国立大学法人動物実験施設協議会（以下、国動協とする）・公私動協が公開している「機関内規程雛形」を参考に、「第3条用語」の定義に管理者、実験動物管理者、飼養保管施設等管理者等を追加するとともに、基本指針や飼養保管基準で求められる事項を確実に網羅するよう検討されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「新潟県立大学動物実験委員会規程」において基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められ、6名の委員による動物実験委員会の構成も適正である。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験委員会と学長あるいは全学倫理委員会との関係性を、権限委譲や役割分担等について明確化するよう検討されたい。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「新潟県立大学動物実験委員会規程」のもとで、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告（終了・中止報告）等の手続きが規定され、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式が定められている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>新潟県立大学動物実験委員会で 3R に関する審査が確実にいえるよう、計画書の書式等を工夫されることを推奨する。また、終了・中止報告書に加えて結果報告の書式を作成されたい。</p>

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理を要する動物実験は実施されていない。よって、安全管理を要する動物実験の実施体</p>

制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験指針上は安全管理を要する動物実験を禁止していないので、実施体制が整うまでのあいだは禁止する旨の学長通達や委員会申し合わせを定める等の対応を検討されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

大学内に1か所の飼養保管施設があり管理者および実験動物管理者が定められ、基本的な管理体制が整備されている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

現状で問題は発生していないが、「実験動物飼養保管施設設置承認申請書」や「動物実験室設置承認書」などの書式を制定したうえで、現在の施設等について委員会査察と学長承認の手続きを図られたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
全学動物実験委員会が設置され、動物実験計画の審査、飼養保管施設の視察、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の審査が行われ、平成 28 年度には 6 件の計画が承認されていた。また、実施結果報告書（終了・中止報告書兼ねる）の提出率は 100% である。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
安全管理を要する動物実験は行われていない。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
実験動物飼養保管マニュアルは「新潟県立大学動物実験室使用の手引」として整備されている。飼養保管施設は 1 か所であり、実験動物管理者のもとで良好に飼養保管が実施されている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

「新潟県立大学動物実験室使用の手引」を基本指針および飼養保管基準に沿った内容として整備されたい。また、購入された動物の搬入方法や学生実習の際に動物を移動する方法・注意点等について追加されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設については、前身の県立新潟女子短期大学時代の飼育室を改築して使用しており、飼育室は狭隘で老朽化が著しいが、現状として基本指針や飼養保管基準に適合している。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果を、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

現時点で問題は表面化していないとはいえ、教育や研究の将来的な発展に備えて、狭隘かつ老朽化が目立つ飼養保管施設の整備や設備について、特に衛生設備や飼育装置等の導入を含めた中長期的な視点での更新計画を機関として検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

全学動物実験委員会による教育訓練が実施され、平成 28 年度の教育訓練受講者は 29 名であった。また、教育訓練の実施記録や受講者の記録等が整理・保存されている。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

教育訓練については基本指針や飼養保管基準の内容を網羅し、より一層動物実験実施者等の資質向上が図れるように改善されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

基本指針に則した自己点検・評価が適正に行われている。新潟県立大学ホームページにて平成 24 年度より動物実験規程、動物実験に関する自己点検・評価報告書、動物実験委員会名簿、承認動物実験計画数、教育訓練講習会参加者数等の情報公開を行っている。しかしながら、「実験動物の飼養保管状況」が未公開である。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果を、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

国動協・公私動協の要請項目を含めて情報公開されたい。あわせて、この検証結果報告書についても公開されたい。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

日実動学-外検発 第H29-3-証

検証実施証明書

新潟県立大学
学長 若杉 隆平 殿

貴機関は公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

平成30年3月19日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 浦野 徹

